

2019年1月期（第35期）決算説明会

株式会社ACCESS

2019年3月15日

ACCESS™

ACCESS CO., LTD.

© 2019 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

本資料の注意点

- 本資料に含まれる業績目標等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社グループで判断したものです
- 将来数値には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来数値と異なる場合がありますので、この将来数値に全面的に依拠して、投資等の判断を行なうことは差し控えてください

●ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、PUBLUS、CROSは、日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの商標又は登録商標です。●ACCESS Twineは、ACCESS Europe GmbHの欧州連合及びその他の国における商標又は登録商標です。●IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOS、OcNOSは、IP Infusion Inc.の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。●その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。

目次

- I. 2019年1月期（第35期）決算概況
- II. 2019年1月期（第35期）セグメント別事業状況
- III. 2020年1月期（第36期）計画
- IV. 中期方針及び取り組み

Appendix

I. 2019年1月期（第35期） 決算概況

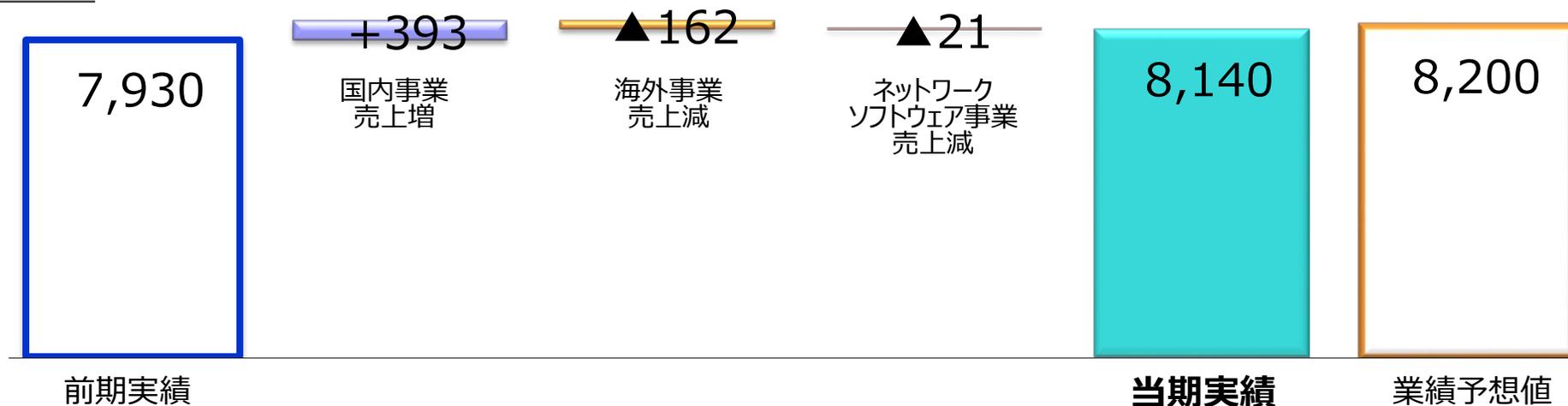
2019年1月期 通期業績ハイライト（単位：百万円）

連結業績は前期比で増収増益を達成し、概ね業績予想値通りの着地

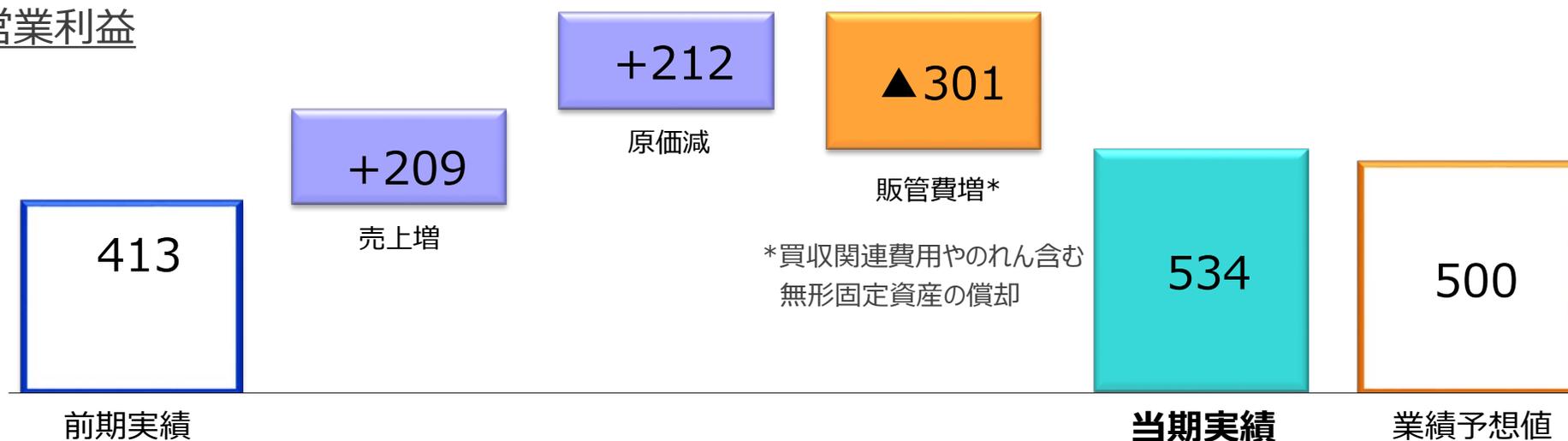
	前期実績	当期実績	前期比		業績予想値 (2018/3/15 公表)	差異
売上高	7,930	8,140	+209	+2.6%	8,200	▲59
売上総利益	3,271	3,693	+421	+12.9%	—	—
営業利益	413	534	+120	+29.2%	500	+34
営業外損益	▲97	▲25	+71	-	—	—
経常利益	316	508	+192	+60.9%	500	+8
特別損益	▲22	18	+40	-	—	—
法人税等	45	148	+102	-	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	246	377	+130	+52.8%	370	+7

売上高・営業利益の前期比増減（単位：百万円）

売上高



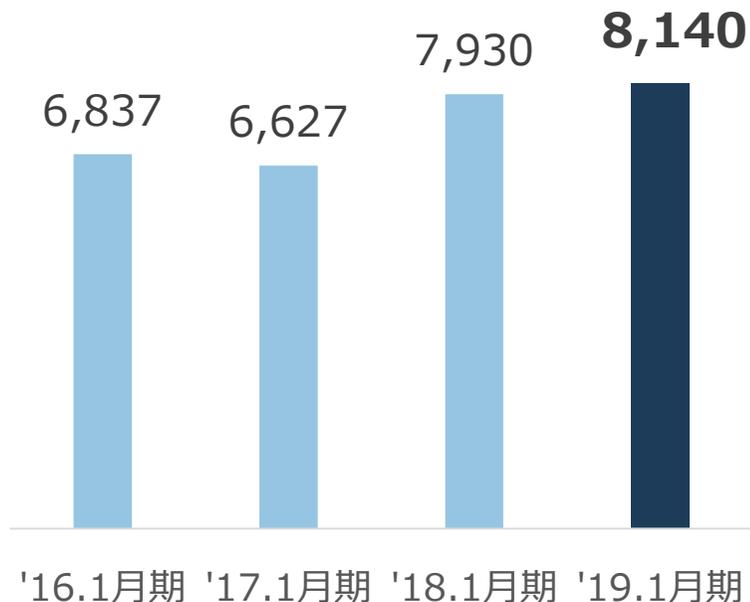
営業利益



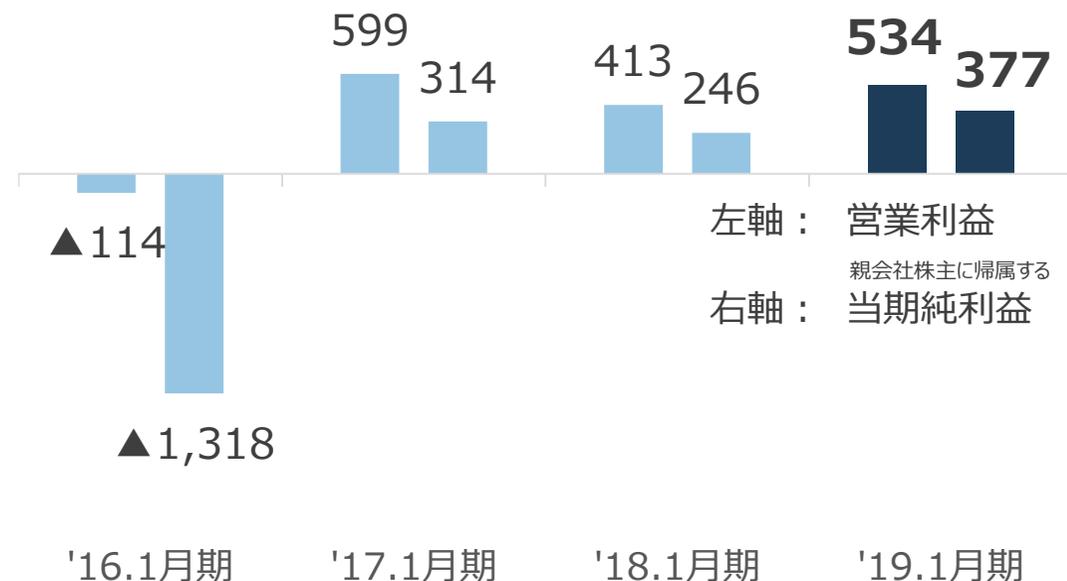
配当について

- ・ 安定的な事業基盤の確立と一定水準の繰越利益剰余金の確保がなされたことから、**1株当たり3円**の配当を実施
- ・ **連結配当性向は30.8%**
- ・ 今後も、必要な内部留保を確保しつつ、安定的な利益還元施策を継続的に実施していく方針

連結売上高推移（単位：百万円）



親会社株主に帰属する
連結営業利益・当期純利益推移（単位：百万円）



II. 2019年1月期（第35期） セグメント別事業状況

セグメント別事業状況（単位：百万円、人）

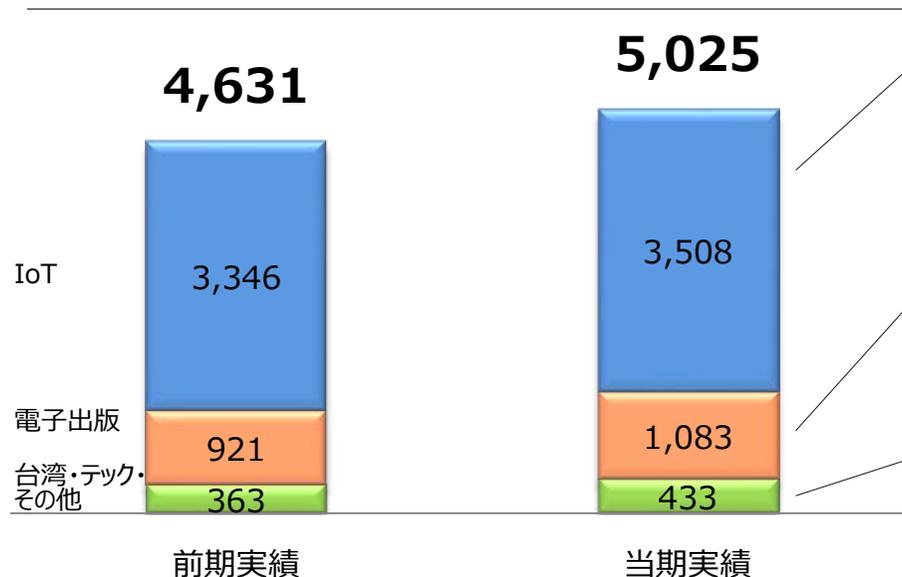
－ 国内事業 －

	前期実績	当期実績	前期比		通期業績予想値
売上高 ^{※1}	4,631	5,025	+393	+8.5%	5,000
セグメント利益 ^{※2}	298	670	+372	+124.9%	370
社員数	215	245	+30		

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦後の営業利益

※2019年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の業績・人員を変更後のセグメント区分に従って表示

売上推移



IoT分野

- メーカーや各種サービス事業者向けのIoT関連受託開発が好調

電子出版分野

- コミックアプリは既存案件の事業規模が拡大し、新規案件の獲得も順調
- Epubビューワも大手事業者の案件を複数獲得

台湾・ACCESSテック

- 台湾のリポート通販支援サービス「CROS™」が前年に引き続き安定成長

セグメント別事業状況（単位：百万円、人）

－ 海外事業 －

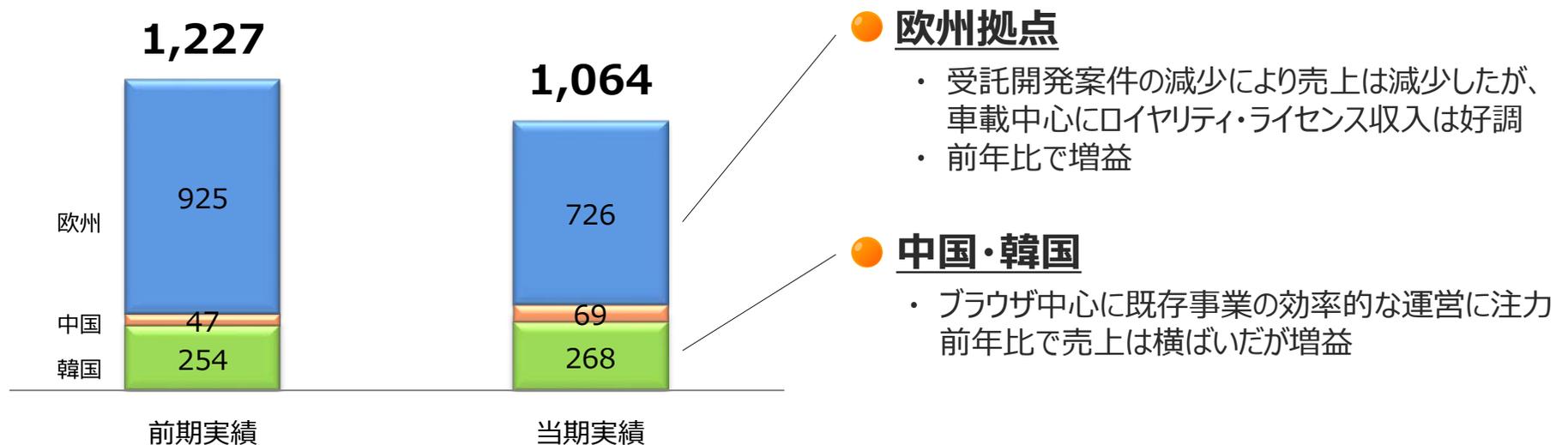
	前期実績	当期実績	前期比	
売上高 ^{※1}	1,227	1,064	▲162	▲13.3%
セグメント利益 ^{※2}	41	84	+42	+101.7%
社員数	65	61	▲4	

通期業績予想値
1,200
70

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦後の営業利益

※2019年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の業績・人員を変更後のセグメント区分に従って表示

売上推移



セグメント別事業状況（単位：百万円、人）

－ ネットワークソフトウェア事業 －

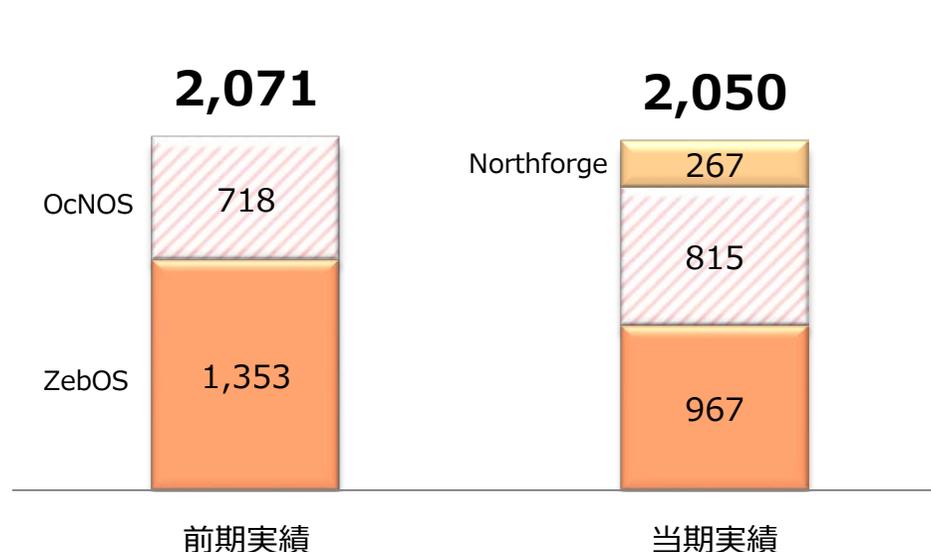
	前期実績	当期実績	前期比	
売上高 ^{※1}	2,071	2,050	▲21	▲1.0%
セグメント利益 ^{※2}	86	▲221	▲307	－
社員数	249	314	+65	

通期業績予想値
2,000
60

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦後の営業利益

※2019年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の業績・人員を変更後のセグメント区分に従って表示

売上推移



● 米国拠点・インド拠点

ipinfusion™
An ACCESS Company

- OcNOS（White Box向けOS）は製品開発の一部遅れがあり想定に届かなかったが、前年比で売上は増加

● Northforge

NORTHFORGE™

- インドと並び、OcNOSの製品開発拠点としても活用
- 売上寄与は翌期に本格化
- 買収に伴う一時費用やのれん・無形固定資産の償却発生による費用増

III. 2020年1月期（第36期）計画

2020年1月期（第36期）計画（単位：百万円、%）

IoT関連受託開発の伸びやNorthforgeの通期寄与により売上高は大幅に増加するが、ソフトウェアやのれん含む無形固定資産の減価償却費が増加し利益は微増の見込み

	2019年1月期 実績	2020年1月期 業績予想値	増減額	増減率
売上高	8,140	9,700	+1,559	+19.2%
営業利益	534	550	+15	+2.9%
経常利益	508	520	+11	+2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	377	380	+2	+0.7%
一株当たり 当期純利益(円)	9.75	9.82	+0.07	+0.7%
一株当たり 年間配当金(円)	3.00	3.00	—	—

セグメント別計画（単位：百万円）

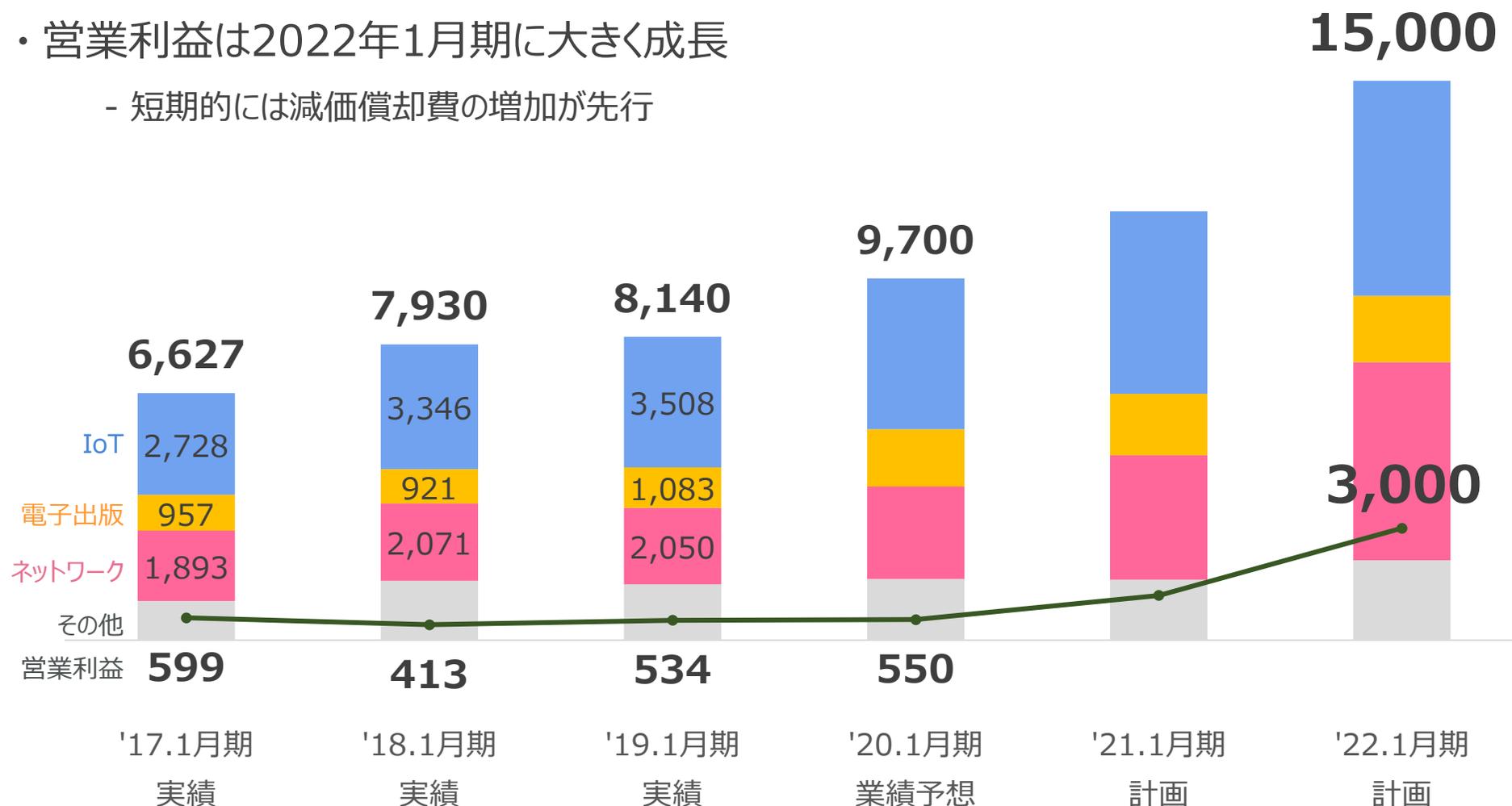
国内事業		2019年1月期 実績	2020年1月期 業績予想値	増減額	増減率	<ul style="list-style-type: none"> IoT関連の受託開発中心に売上増 製品開発投資に伴う償却費増 販売及び管理体制強化のため販管費増
	売上高 ^{※1}	5,025	6,130	+1,104	+22.0%	
	セグメント利益 ^{※2}	670	592	▲78	▲11.7%	
海外事業		2019年1月期 実績	2020年1月期 業績予想値	増減額	増減率	<ul style="list-style-type: none"> 欧州中心に売上、利益ともに増加
	売上高	1,064	1,090	+25	+2.4%	
	セグメント利益	84	118	+33	+40.0%	
ネットワーク ソフトウェア 事業		2019年1月期 実績	2020年1月期 業績予想値	増減額	増減率	<ul style="list-style-type: none"> Northforgeが通期寄与し売上増 将来に向けた投資のため赤字が先行のれん含む無形固定資産やソフトウェアの償却費
	売上高	2,050	2,480	+429	+21.0%	
	セグメント利益	▲221	▲160	+61	—	

※1 外部顧客への売上高 ※2 本社費配賦後の営業利益

IV. 中期方針及び取り組み

中期方針 (単位：百万円)

- ・ 2022年1月期に向け、戦略的に製品開発投資を強化
 - White Box関連、IoTサービス、マルチスクリーン関連が主な対象
- ・ 営業利益は2022年1月期に大きく成長
 - 短期的には減価償却費の増加が先行



IoT分野 車載向けマルチスクリーンソリューションへの取り組み

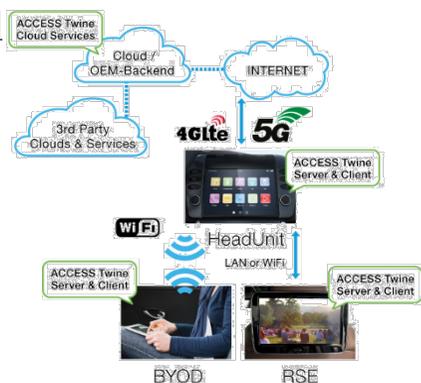
カーナビ向けブラウザから車載エンテインメントへ事業領域を拡大

- コネクテッドカーへの移行に伴い、特に車載向けサービス市場の立ち上がりが予測される
- ACCESSはコンテンツ配信プラットフォーム・サービスを提供し、ストック収益基盤の構築を図る

ACCESSの取り組み

- 完成車メーカーやTier1サプライヤー向け PoC（技術実証）案件は順調に進展
- コンテンツプロバイダとのパートナーシップ形成
- セキュリティの強化（Irdetoとの協業）
- 自動車向けメディアプラットフォームとしてはドイツの公的機関から初めて認定 (Medienanstalt Hamburg/Schleswig-Holstein)

※システム概念図



車載エンテインメント市場規模（単位：10億米ドル）



※ソフトウェア、ハードウェアを含む市場全体



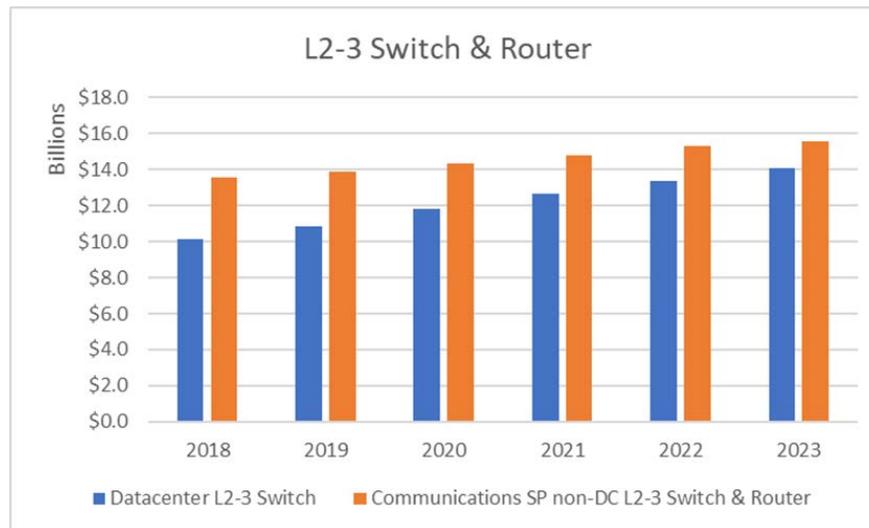
White Box市場への取り組み



通信キャリアがWhite Box導入の本格検討を進めており、今後数年で市場が大きく拡大

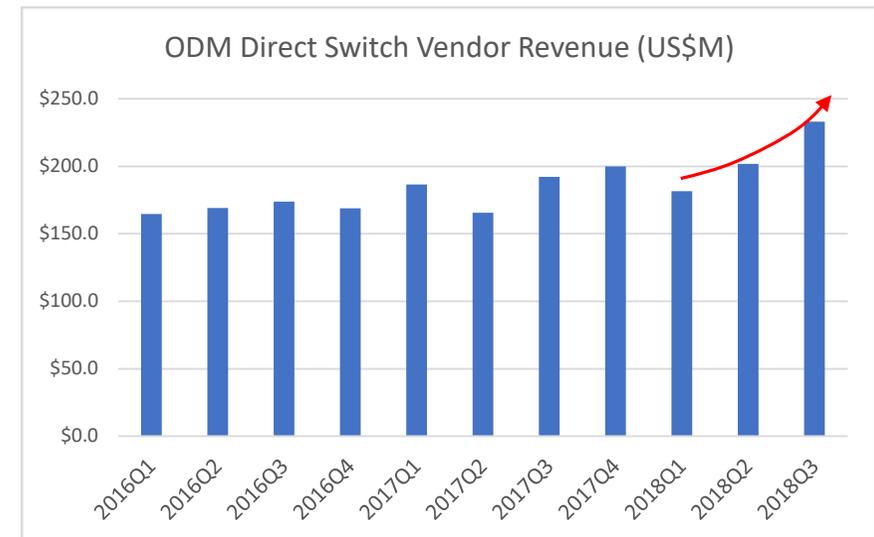
- 通信キャリアは5Gによる通信量増大に対応する必要があり、CAPEX / OPEXの削減が重要課題
- 有力な解決策として、White Boxの導入を各社が検討中
- データセンター向けには導入が進み、既存ベンダーに代わるWhite Boxベンダーの売上が増加傾向

ネットワークスイッチ市場規模 (単位：10億米ドル)



※従来型スイッチも含む、ソフトウェアとハードウェアの市場全体
※IDC調査による

White Box導入状況 (単位：100万米ドル)



※ネットワークスイッチのうち、White Boxの市場
※IDC調査による

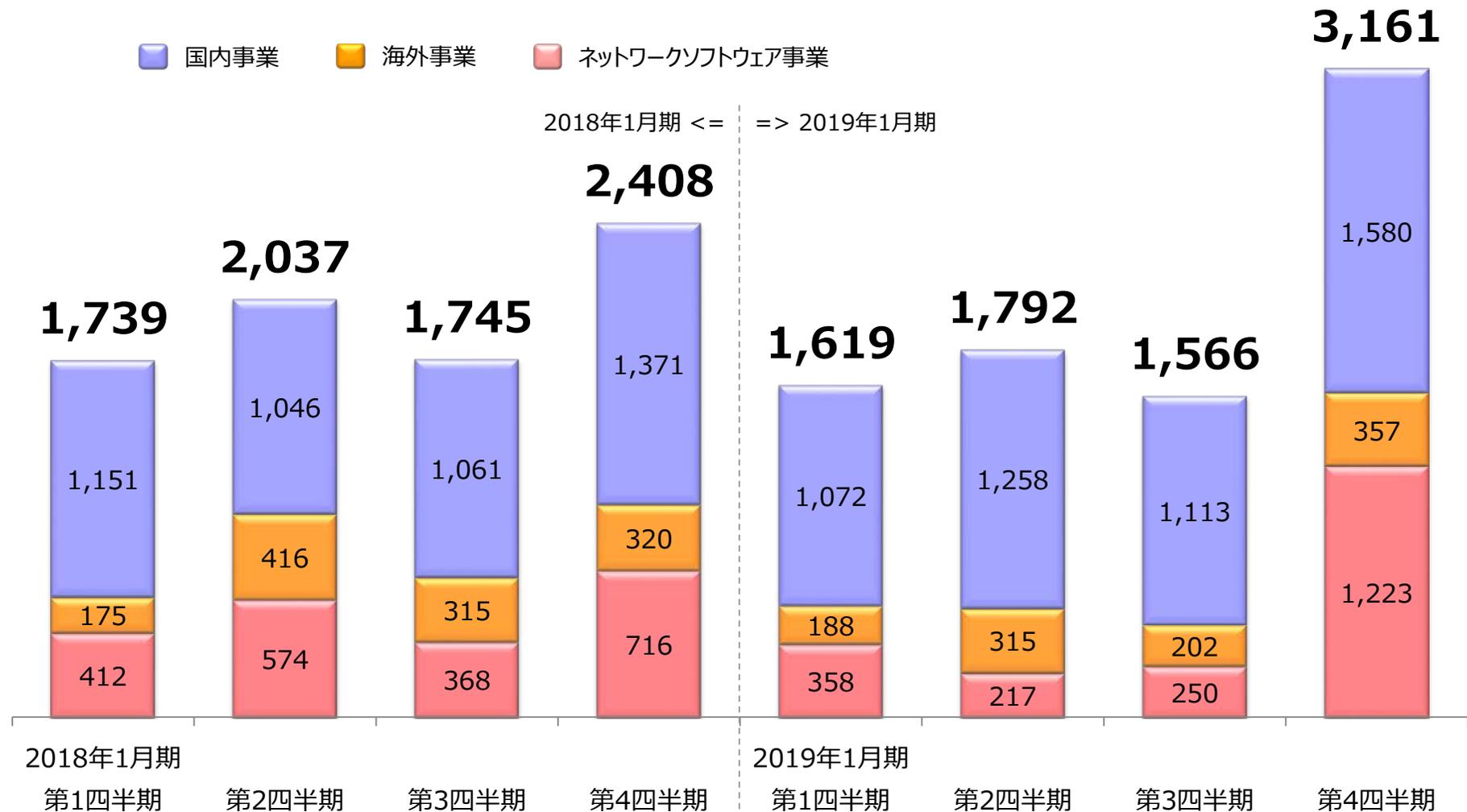
当社は通信キャリア向け市場を主なターゲットとして市場でのリーダーポジション獲得を図る

- 通信キャリアは既存製品 (ZebOS) で採用実績があり、技術的な競争優位性を活かし多数のPoC (技術実証) 案件に参加中
- 市場立ち上がり早いデータセンター向けには、高機能・高品質を差別化要素とし一定程度のシェア獲得を目指す

Appendix

1. セグメント別売上高の推移
2. セグメント別営業損益の推移
3. 営業外損益・特別損益の明細
4. 連結貸借対照表（要約）
5. 連結キャッシュ・フローの状況（要約）
6. 人員の推移
7. 2019年1月期 下期 開示一覧

セグメント別売上高の推移 (単位：百万円)



※2019年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の業績を変更後のセグメント区分に従って表示

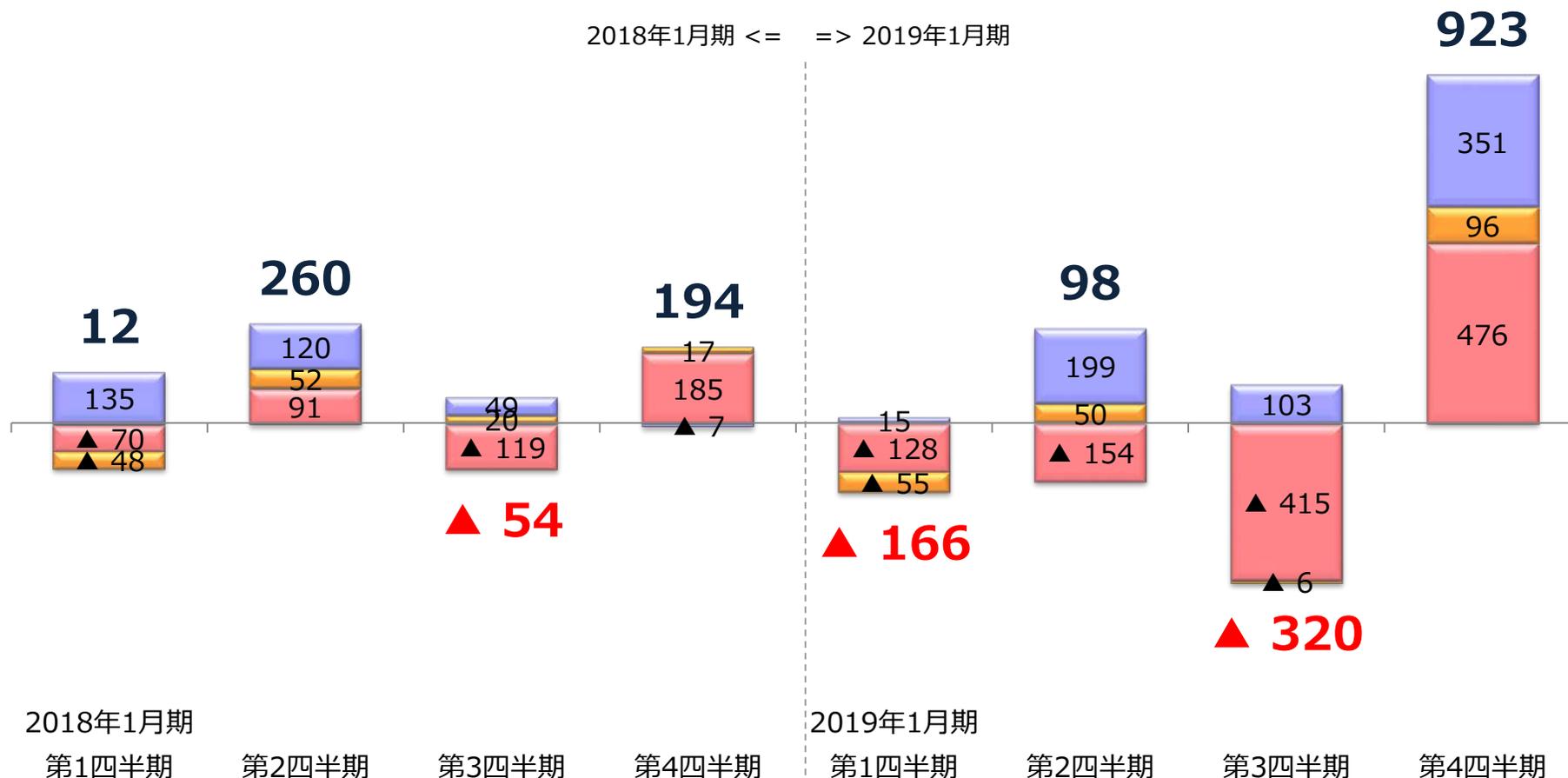
(将来見通し)

2020年1月期においても四半期トレンドは2019年1月期と同様、第4四半期に売上が集中する見込み

セグメント別営業損益の推移 (単位：百万円)

■ 国内事業 ■ 海外事業 ■ ネットワークソフトウェア事業 ■ 調整額

2018年1月期 <= => 2019年1月期



2018年1月期

第1四半期

第2四半期

第3四半期

第4四半期

2019年1月期

第1四半期

第2四半期

第3四半期

第4四半期

※2019年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の業績を変更後のセグメント区分に従って表示

営業外損益・特別損益の明細 (単位：百万円)

	科目名	ACCESS (本社)	子会社	修正	連結合計
営業外収益	条件付取得対価に係る公正価値の変動額	-	35	-	35
	持分法による投資利益	-	-	28	28
	受取利息	7	18	▲6	19
	受取配当金	33	3	▲32	3
	その他	5	8	▲4	8
	合計	45	65	▲16	95
営業外費用	為替差損	35	26	11	73
	投資事業組合運用損	38	-	-	38
	支払利息	-	11	▲6	4
	その他	0	3	-	3
	合計	74	41	4	121
特別利益	事業譲渡益	14	-	0	15
	固定資産売却益	2	0	-	2
	貸倒引当金戻入益	62	-	▲62	-
	合計	80	0	▲62	18
特別損失	固定資産除却損	-	0	-	0
	合計	-	0	-	0

連結貸借対照表（要約）（単位：百万円）

	2018年1月期 期末	2019年1月期 期末	増減
【資産】			
流動資産	28,311	26,616	▲1,694
現金及び預金	25,386	23,016	▲2,370
売掛金	2,153	2,945	+791
その他	770	654	▲115
固定資産	2,732	5,072	+2,340
有形固定資産	335	388	+52
ソフトウェア	1,664	2,831	+1,166
のれん・その他無形固定資産	-	1,081	+1,081
投資その他の資産	731	771	+40
資産合計	31,043	31,688	+645
【負債・純資産】			
流動負債	1,198	1,306	+107
固定負債	380	624	+244
純資産	29,464	29,758	+293
資本金・資本剰余金	29,386	29,386	-
利益剰余金	2,686	3,064	+377
自己株式	▲345	▲345	▲0
その他包括利益累計額	▲2,295	▲2,380	▲85
新株予約権	29	30	+0
非支配株主持分	2	3	+0
負債純資産合計	31,043	31,688	+645
【その他】			
株主払込資本	63,318	63,318	-
株式時価総額	44,165	33,595	▲10,569
株価（円）	1,124	855	▲269

Northforge買収及び
製品開発投資

連結キャッシュ・フローの状況（要約）（単位：百万円）

	2018年1月期 通期	2019年1月期 通期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	709	585
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	786	▲3,158
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲0	▲400
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	23	▲25
V. 現金及び現金同等物の増加額	1,519	▲2,998
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	24,157	25,677
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	25,677	22,678

税金等調整前当期純利益	: 293 百万円	税金等調整前当期純利益	: 526 百万円
減価償却費	: 613 百万円	減価償却費	: 836 百万円
売上債権の増加	: ▲391 百万円	売上債権の増加	: ▲708 百万円
たな卸資産の減少	: 144 百万円	法人税等の支払額	: ▲164 百万円

定期預金の払戻による収入	: 2,192 百万円	無形固定資産の取得による支出	: ▲1,883 百万円
無形固定資産の取得による支出	: ▲1,130 百万円	連結の範囲の変更を伴う	
定期預金の預入による支出	: ▲134 百万円	子会社株式の取得による支出	: ▲1,076 百万円
関係会社株式の取得による支出	: ▲85 百万円	定期預金の預入による支出	: ▲205 百万円
		定期預金の払戻による収入	: 128 百万円

引出制限付預金の預入による支出	: ▲333 百万円
-----------------	------------

人員の推移

(単位：人)		2018年1月期				2019年1月期			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
国内事業	開発	163	177	168	169	167	181	191	200
	営業	36	32	39	41	39	39	40	40
	管理	5	5	5	5	5	5	4	5
	合計	204	214	212	215	211	225	235	245
海外事業	開発	38	33	37	37	39	35	36	38
	営業	18	20	20	19	16	16	15	15
	管理	9	10	10	9	9	9	8	8
	合計	65	63	67	65	64	60	59	61
ネットワークソフトウェア事業	開発	238	239	234	226	223	226	297	285
	営業	11	11	11	11	10	10	12	13
	管理	13	12	12	12	12	11	16	16
	合計	262	262	257	249	245	247	325	314
本社部門等	管理	30	30	31	30	46	35	36	37
	合計	30	30	31	30	46	35	36	37
合計		561	569	567	559	566	567	655	657

※全て各四半期末時点における人員数

※2019年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の人員を変更後のセグメント区分に従って表示

2019年1月期 下期 開示一覧 ①

		適時開示	報道発表
第3四半期	8月	<ul style="list-style-type: none"> ■ カナダNorthforge Innovations Inc.社の買収完了に関するお知らせ（8月3日） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ACCESSの通販支援サービス「CROS™」にネットプロテクションズの台湾向けリスク保証型スマホ後払い決済「AFTEE」を、市場に先駆けて導入
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ■ ACCESSとZEASN、次世代のスマートテレビのユーザーエクスペリエンスをリードする共同ソリューションを発表 ■ ACCESSとCastoola、欧州の放送・通信のハイブリッド規格であるHbbTV対応ソリューションの普及加速をめざし、協業 ■ ACCESSとFoxxum、新興市場向けAndroid対応スマートテレビソリューションを提供 ■ ACCESS、DTVKit、EKT、HiSilicon、コンテンツ配信の課題を解決するカスタマイズ性に優れたプラットフォームを提供開始 ■ IP Infusionの「OcNOS®」を用いたWhite Boxソリューションを、世界最大級のIXP、LINXが「LINX solution in a box」として発表 ■ パナソニックの「新4K衛星放送」に対応したブルーレイディスクレコーダー「ディーガ」に最新版高性能ブラウザ「NetFront® Browser BE DTV Profile」が採用
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ■ ACCESS、膨大な数の低消費電力IoTデバイスのAI化を目指し、LeapMindと協業 ■ ACCESS、人・モノを認識するAI機能を搭載した低消費電力・小型IoTカメラを開発 ■ IP Infusion、TIPに加盟、大手ソフトウェア、ハードウェア、コンポーネント・メーカーと業界初のオプティカルモジュール／システム向けソフトウェア・インターフェースを開発 ■ 小中高等学校向け電子書籍サービス「スクールイーライブラリー」に、電子テキスト配信システム「PUBLUS® Lite for Browser」が採用 ■ パナソニックの新4K放送に対応したCATVデジタルセットトップボックスにACCESSの「NetFront® Browser BE DTV Profile」が採用

2019年1月期 下期 開示一覧 ②

		適時開示	報道発表
第4四半期	11月		<ul style="list-style-type: none"> ■ IP Infusion、データセンター向けパッケージソリューション「IPI DC-BOX」を発表 ■ ACCESS、NTTドコモの世界最薄・最軽量カードケータイ「KY-01L」にブラウザ技術を提供 ■ NTTドコモの「dブック®」アプリにACCESSの「PUBLUS® Reader」が採用
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ■ オーストラリアのISP事業者EscapeNetが、南オーストラリア州政府の「GigCity Adelaide Network」向けにIP Infusionの「OcNOS®」を導入 ■ IP Infusion、業界初となる、セルサイトルーティング向け多機能商用ネットワークOS「OcNOS®-CSR」を開発・提供開始 ■ ACCESS、「ACCESS Twine™ for Car 2.0」を発表 ■ 「幻冬舎plus」のリニューアルに伴い、EPUB 3対応電子書籍ビューワ「PUBLUS® Reader for Browser」が採用
	1月		<ul style="list-style-type: none"> ■ 執行役員の選任に関するお知らせ（1月31日）